

# こども病院の人工島移転 市民無視し市長が議案提出

吉田市長は9月5日、こども病院の人工島移転の「基本構想案」を決め、土地取得のための議案（病院事業会計補正予算案）を提出しました。12日から始まる9月議会で審議・採決される予定です。

## ■47億円の補正予算案

議案は人工島の病院用地の買い取り費用47億円余を確保するもの。博多港開発から土地を買うため、その財源は市民の税金をあてにした借金です。

用地の面積は3・5ヘクタールですが、これはこれまで議会や市民に説明してきた「1・5〜3ヘクタール」から大きくは

## 市長の資格なし！

## 徹底追及がんばる 共産党

多くの市民が「子どもの命を人工島の犠牲にするな」「市長は市民の声を聞け」などの声をあげ、反対世論はますます高まっています。請願署名9万3

586筆を含め、反対署名は総計17万超に達しています。日本共産党は、市長に対し決定の白紙撤回を求め、「基本構想」と関連議案の策定をやめよと主張してきました。

こうした状況を一顧だにせ

ず、突き進む吉田市長の姿勢はまったく異常です。公約違反を指摘されても開き直っています。こんな吉田市長に議案を提出する資格はありません。

市長はこども病院人工島移転を進める議案を即時撤回すべきです。日本共産党は9月議会の質疑で市長を徹底的に追及するとともに、この議案の成立を阻止するために全力をあげます。

民主 市長を後押し  
推進役  
自民 結局、市長案  
に賛成か  
なれあい？

民主はこども病院の人工島移転を推進し、市長提案の議案の成立にむけ奔走。態度を明らかにしていなかった自民党が市長提案に賛成すると報じられています。こんななれあいは許せません。

